

ICT活用レポート！

第（ 1 ）学年 （ 算数 ） 科 単元名「ひきざん ⁽¹⁾ 」での実践		
項目	内容	
ICT 活用の場面	ひきざんの計算について数図ブロックで説明する場面	
使用した ICT 機器	<ul style="list-style-type: none"> ・実物投影機 ・テレビ 	
具体的な方法	①ひきざんの問題場面に合わせて、自分の机の上で数図ブロックを動かす。 ②実物投影機を用いてモニターに投影し、数図ブロックを動かして説明する。	
成果と課題	○成果	△課題
	○自分の机で操作したブロックと同じ物を動かすことができるので、とまどうことなく説明できた。 ○発表を聞いている児童も、自分の机にあるブロックと同じブロックで説明されることで自身の動かし方と比べることができた。	△拡大、縮小など、実物投影機の操作を児童にも身に付けさせることで、より学級全体へ伝わる発表となるだろう。
感想や改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・実物投影機は、手元の動きをリアルタイムに、拡大して、提示できるのがとても有効である。 ・本時では、ブロックの動かし方を投影した。テレビと実物投影機を常設し、いつでも使用できるようにしておくことを今後も継続する。 	

